

研究授業（4年道徳科「きっぱりことわる」永田先生 6月23日）を終えて

「わかった」「できた」を実感できる算数科の授業  
～数学的活動を通して学ぶ楽しさやよさをあじわう授業をめざして～  
考える力・協働する力・がんばり抜く力

富田先生の授業までの「共通実践」と「取組の検証」

視点①ふりかえるための構造的板書。

視点②練り上げのために言葉のたから箱を活用した発表。

視点③1時間の流れをもとにしたまとめやふり返し。

どうしてそう思  
うんだろう？

（鴨川）先生の改善点  
アンケート等を活用して、自分の生活を見つめさせるためのふり返しを充実させたい。

（廣田）先生の改善点  
めあて、価値項目、まとめ、ふり返りの一貫性をもたせる。  
発表会にならず、子どもの考えをつなげて練り上げる。

（樫原）先生の改善点  
教材を基に、「自分だったら」と想像し、自分の生活に結びつけることができる授業展開。  
お互いに質問し合いながら思考を深めていくペアやグループでの話し合い活動。

（前田）先生の改善点  
子どもたちの実態を把握し、教師の意図を持って授業すること。

（大津山）先生の改善点  
子どもたちの考えを深められるような発問や声かけを心がけていきたい。

（小坂）先生の改善点  
「ふり返し」の時間を5分は必ずとっていききたい。  
子どもの発言を分類化して整理していくために、発問として3分類か4分類の答え（発言）が出てくるように考える。

（永杉）先生のアドバイス  
話し合いのときに、「なんでそう思ったの？」とお互いに尋ねるやりとりがあると深まりが生まれると思いました。



研究授業、ありがとうございました。子どもたちが自由に、そして率直な意見を出していることから、日頃の学級経営のあたたかさが感じられました。道徳科は特別な教科ですが、道徳とは学校の教育活動全体で育むものです。これからも、子どもたちが自分の生活をふり返し、今後よりよく生きていくための方法を考えることができるように、授業をがんばっていきましょう。